会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（元町第一自治会）
2　日時	平成 30 年 7 月 29 日（日）10：30～12：30
3　場所	茅ヶ崎コミニュティセンター
4　出席者	（資源循環課）森岡担当主査、永井主任 （環境事業センター）広田主幹、安齋担当主査 （元町第一自治会）参加人数：19 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●私が住む地域は駅の近くで商業地であるが、自治会員がその界隈の清掃を行っている。商売をしている人や、非自治会員が清掃をしないのは不公平である。また、茅ヶ崎市職員にも週に 1 回でも駅周辺の清掃をお願いしたい。 →複数の部署を跨る話でもあるので、機会があれば関係部局へ伝えていきたい。また、いただいたご意見で、我々ができる範囲で対応していきたい。 ●燃やせるごみの中に、資源化可能な紙類が多いとのことだが、分別が非常に難しい。例えば丸めた紙類も資源になるのか。 →啓発については注力していきたいと考えている。ご質問のものは、資源の古紙類になるかと思うので、分別をお願いしたい。 ●今後のごみ排出量が減少傾向にあるが、それは人口が減少するからか。それに伴い、ごみ処理経費は減少するか。 →平成 32 年度をピークに人口は減少するため、それを加味したごみの減少である。 それに伴い経常的かかる費用は減少するとは思うが、施設改修費等で別途費用がかかるため、有料化等の施策を検討している。 ●マンションが家の近くに建っているが、戸建の家庭に比べて、まったく分別をしてくれない。また、外国の方も住んでいる。不動産会社の事前の指導を行うべきではないか。 →ご意見のとおり、市も認識しているところである。会社にもよるが、不動産によっては丁寧に説明していただいているところもある。その際には、分け出しの冊子も渡してくれている。今後も引き続き不動産への周知も進めていきたいと思う。 ●アパートの経営をしているが、ルールを守らない人は多い。大家さんがその集合住宅に住んでいない場合は、手のつけようがない。休日等は不動産会社にも連絡もつかない。不動産会社の緊急連絡先を市が管理するべきではないか。 →環境事業センターにも、不適切排出についての連絡が入ることがある、ケースにも

	よるが、管理会社に連絡をとって対応することもある。 ●飲食系事業ごみの分別がなされていないことがある。事業者へ指導しても、聞く耳をもたない。 →自治会の了解を得た上で、日量 10 キロまでであれば、事業系のごみについても集積場所にだしていいことにはなっているが、不適切な排出や排出量が多い事業者には、年に数回指導している。今後も指導、啓発を進めていきたいと考えている。 ●有料化には賛成であるが、その代わりに戸別収集はぜひ実現してほしい。分別がさらに進むと思う。 →皆様の意見を頂戴した上で、検討していく。 以上